

顎関節症・口腔顔面痛セミナー

疼痛性障害をはじめとした 身体表現性障害は、 新しい診断分類(DSM-5)では どう分類されているのか？

東京女子医科大学東医療センター精神科

山田和男 教授



日時：平成26年2月18日(火) 18時～20時

場所：歯学部棟4階第一示説室

口腔顔面痛と精神疾患の関係でご高名な山田先生をお招きし、ご講演をいただくこととなりました。

昨年度の岡山大学大学院臨床専門医コース特別講演においては、不安障害とパーソナリティ障害についてお話していただきました。今回は、疼痛性障害をはじめとした身体表現性障害の概説を頂くとともに、2013年に発表された新しい診断分類(DSM-5)ではどのように分類されているかについてもご説明頂きます。

口腔顔面痛患者に限らず、あらゆる臨床現場でこのような疾患患者に遭遇した際にも役立つ知識が得られることと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

なお、当講義の受講により、大学院研究方法論(応用)に出席されたことと見なされます。

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科インプラント再生補綴学分野 窪木拓男

連絡先：前川賢治 (maekawa@md.okayama-u.ac.jp)